

日時：平成24年3月25日（日）17：00～19：40

場所：八幡コミュニティセンター ホール

【 当 日 の 内 容 】

17：00

- ◆ 開会

17：00～17：05

- ◆ 主催者挨拶（石狩市 総務部／川又 和雄 部長）

17：05～17：10

- ◆ 地区別ワークショップの目的についての説明（事務局／株ドーコン）
 - ・ 自助、共助を基本とした地域防災力の向上！

17：10～17：20

- ◆ 本日の進め方の説明（事務局／株ドーコン）
 - ・ グループ別意見交換の進め方
 - ・ 情報提供資料

17：20～18：50

- ◆ グループ別意見交換
 - ・ 想定される災害種別と被害の内容
 - ・ 地区特有の防災上の課題

19：00～19：40

- ◆ グループ別意見の発表
 - ・ 各グループ代表者から発表

19：40

- ◆ 閉会



◆グループ別意見の概要

Aグループ：生振地区

- ・津波、地震、洪水、雪害などが心配。
- ・川に四方を囲まれており、橋の耐久性の確認が必要。
- ・高齢者が多いが、同じ町内の人しか状況を知らない。
- ・建設会社の土場、空き家が多く、不審火、不審者の心配がある。
- ・犬を飼っている人が多いが、地震、津波の避難の時どうするか課題。



Bグループ：生振地区

- ・日頃から危機意識を高めていくことが重要。
- ・家族のあいだでの連絡方法、集会所の確認なども必要。
- ・海、川を遡上する津波への対策が課題。地域に一部だけ高いところ（紅葉山砂丘）はあるが・・・。
- ・生振小学校の耐震性の確認が必要。
- ・高齢者の避難誘導について、普段からの話し合いが必要。
- ・昭和 56 年の水害では、人間だけでなく農作業機械の避難も必要だった。洪水の記憶が地域には残っている。
- ・想定外の津波について、人間あきらめが肝心との警句もあった。



Cグループ：本町地区

- ・津波の不安がある。海と川に挟まれているという地形上の課題がある。
- ・大雨で道路が冠水することもある。液状化についても心配。
- ・本町地区は道路が行き止まりのため、避難が一方向になってしまう。
- ・高齢化率も高く、体が不自由な人も多い。避難をどう呼びかけるか、若い人が少ないなかでどう助けるかが課題。
- ・海水浴客や石狩さけまつりの際に多くの来訪者がある。来訪者をいかに避難させるかも課題。
- ・津波避難ビルとして公営住宅があるが、一棟だけでは足りない。消防署の建替えに期待したい。
- ・大型バスを待機させておいて、高齢者の避難に使うアイデアもある。普段は福祉バスとして、買物支援などにも活用できる。
- ・船を使った川からの避難、八幡地区と結ぶ橋の整備なども話題になった。



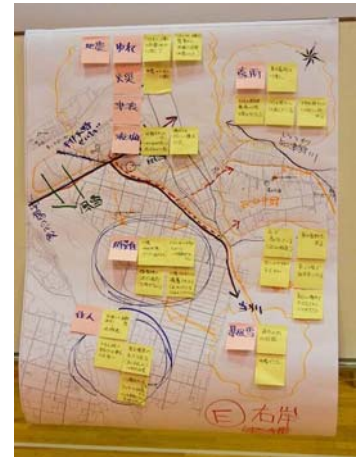
Dグループ：本町地区

- ・昭和56年の洪水の記憶があり、現在も不安がある。
- ・奥尻島での津波の際、石狩川の水位が上がって不安になった記憶がある。
- ・独居老人の対策も課題。
- ・石狩中学校周辺の砂が採掘されて、不安定になっている。
- ・津波の発生を知るための放送の方法が課題。
- ・高いところがないので、消防署の建替えに期待。
- ・海水浴客の避難も課題。
- ・冬の避難には寒さ対策も必要。
- ・空き家も多く、対策が求められる。
- ・海岸沿いに防風林を植えてはどうか。東日本大震災の瓦礫を受け入れて、モエレ山のような高台をつくれば一石二鳥ではないか。
- ・普段備えていたとしても、備蓄品などの更新が必要。電池も使えなくなる。毎年の交換が必要。
- ・自分の命は自分で守る意識が大切。逃げることを徹底すべき。
- ・津波の想定高さについても知りたい。



Eグループ：右岸地区

- ・地震、火災、津波、豪雨、暴風雪が心配。避難場所の確保が課題。住んでいる人をどう避難支援するかの課題もある。
- ・八幡コミュニティセンター、八幡小学校など避難所となっている場所の耐震性が心配。
- ・上流部に農業ダムがあり、地震で決壊しないか心配。
- ・八幡、緑ヶ原などの市街地があり、地震に伴う火災も心配。
- ・津波の避難にあたって、どこに逃げるか考えるためには、高さの想定が必要。高台に避難するにしても、八幡から高岡までは3.6kmもある。
- ・地盤も悪く液状化の心配もある。
- ・昭和56年の水害以降、石狩川放水路、排水路の整備が進み、安全性は高まった。一方でゲリラ豪雨など新たな心配がある。
- ・避難所に備蓄はされているが、どの程度であれば足りるか心配。また、冬の避難も心配。



Fグループ：右岸地区

- ・地震、津波、火災、風雪の災害が想定される。
- ・水害は実感がある。特に美登位地区は被害を受けやすい。
- ・風雪害により、救急・消防が滞る心配がある。外出を控えるなど、自主的に備えるしかない。

